

平成 19 年 (2007 年) の雲仙岳の火山活動

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況で経過しました。

2007 年の活動概況

・噴煙など表面現象の状況 (図 1)

噴煙は白色・ごく少量で、噴煙高度の最高は 50m(12 月)でした。また、10 月 16 日に現地調査を行い、噴気地帯の状況に変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況(表 2、図 2、図 3)

火山性地震の発生回数は少ない状態で経過しました。火山性地震の震源は主に平成新山直下に求まりました。火山性微動は発生しませんでした。

・地殻変動の状況(図 4)

GPS 観測では、各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした。10 月 16 日に実施した光波測距観測では、火山活動に起因する変化は認められませんでした。

・熱活動の状況(図 5、図 6)

10 月 16 日に実施した赤外熱映像装置¹⁾による観測では、噴気地帯の熱異常域の分布に大きな変化は認められませんでした。表面温度はやや低下しました。

1) 赤外熱映像装置 物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器で、熱源から離れた場所から温度を測定することができる利点がありますが、大気その他の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2007 年の噴火予報及び噴火警報の発表状況

発表日時	噴火警報または噴火予報	活動状況及び予報警報事項
12 月 1 日 10 時 17 分	噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)	火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られない。

注)平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止しました。

この資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。

この資料は、気象庁のデータの他、九州大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

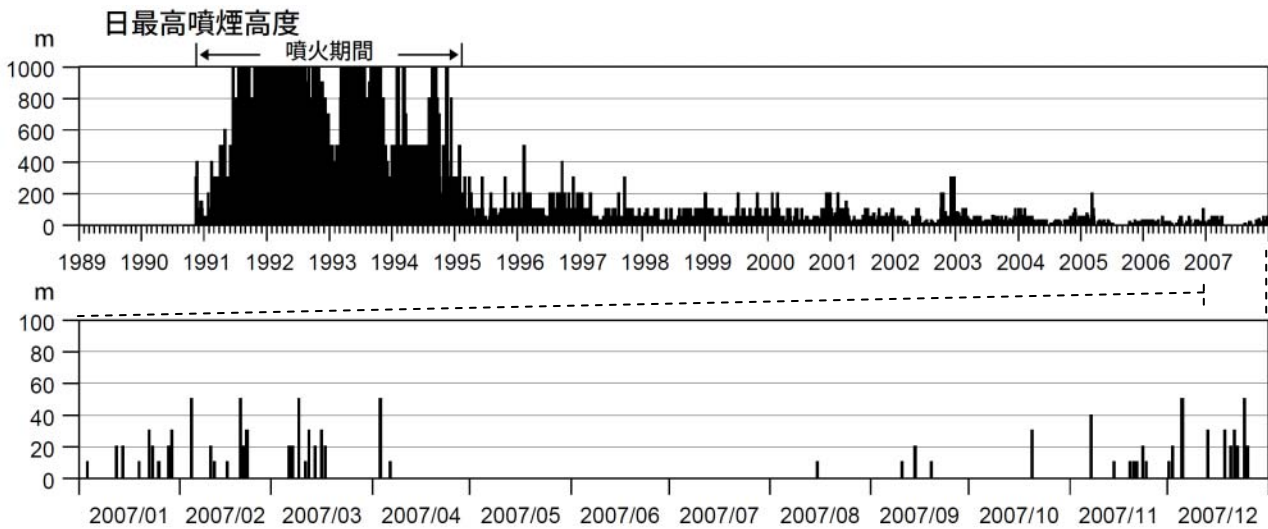


図1 雲仙岳 噴煙活動経過図(1989年1月1日~2007年12月31日)

表2 火山性地震・微動の月別発生回数

2007年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
地震回数	3	5	0	3	0	5	1	1	1	12	5	4	40
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

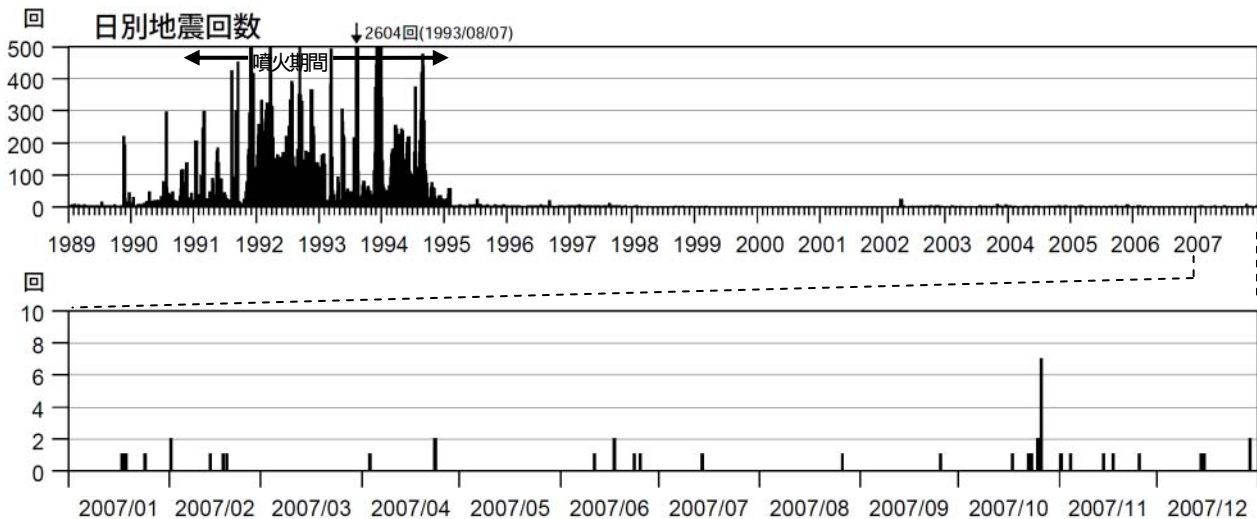


図2 雲仙岳 火山活動経過図(1989年1月1日~2007年12月31日)

- ・2007年の噴煙活動は穏やかに経過し、期間を通して噴煙量は少量で、最高高度は50mでした。
- ・2007年の火山性地震の発生回数は40回(2006年22回)で、昨年と比べて大きな変化はありませんでした。
- ・火山性微動は観測されませんでした。

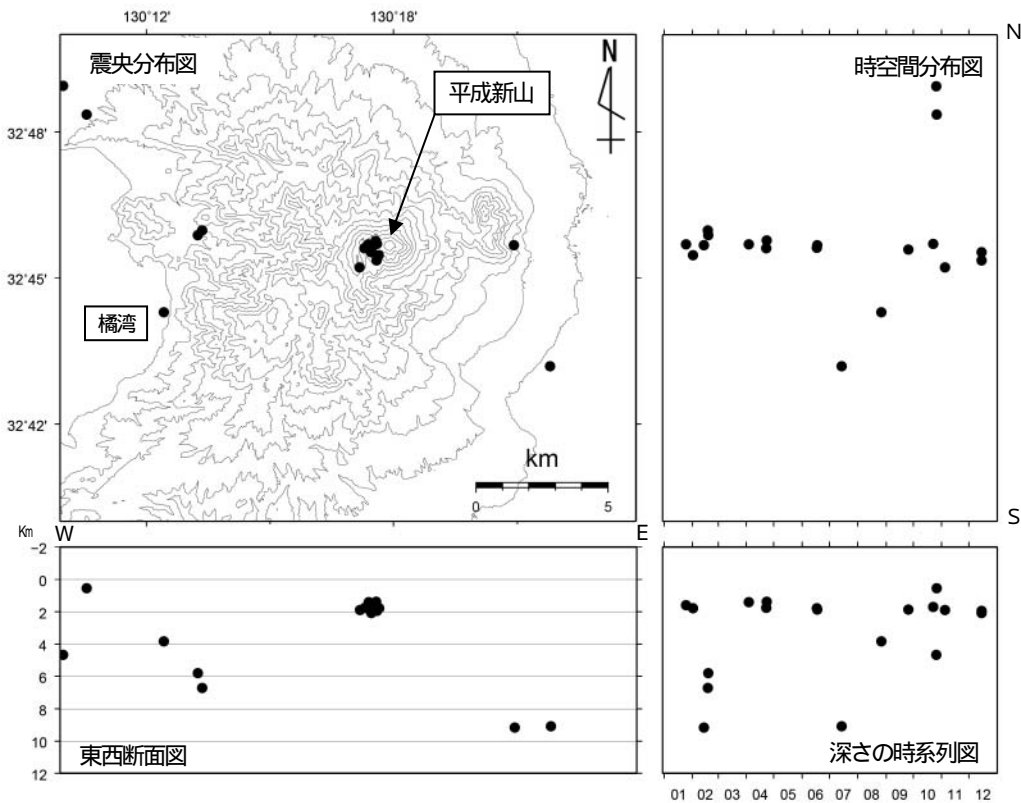


図3 雲仙岳 火山性地震の震源分布図 (2007年1月1日~12月31日)

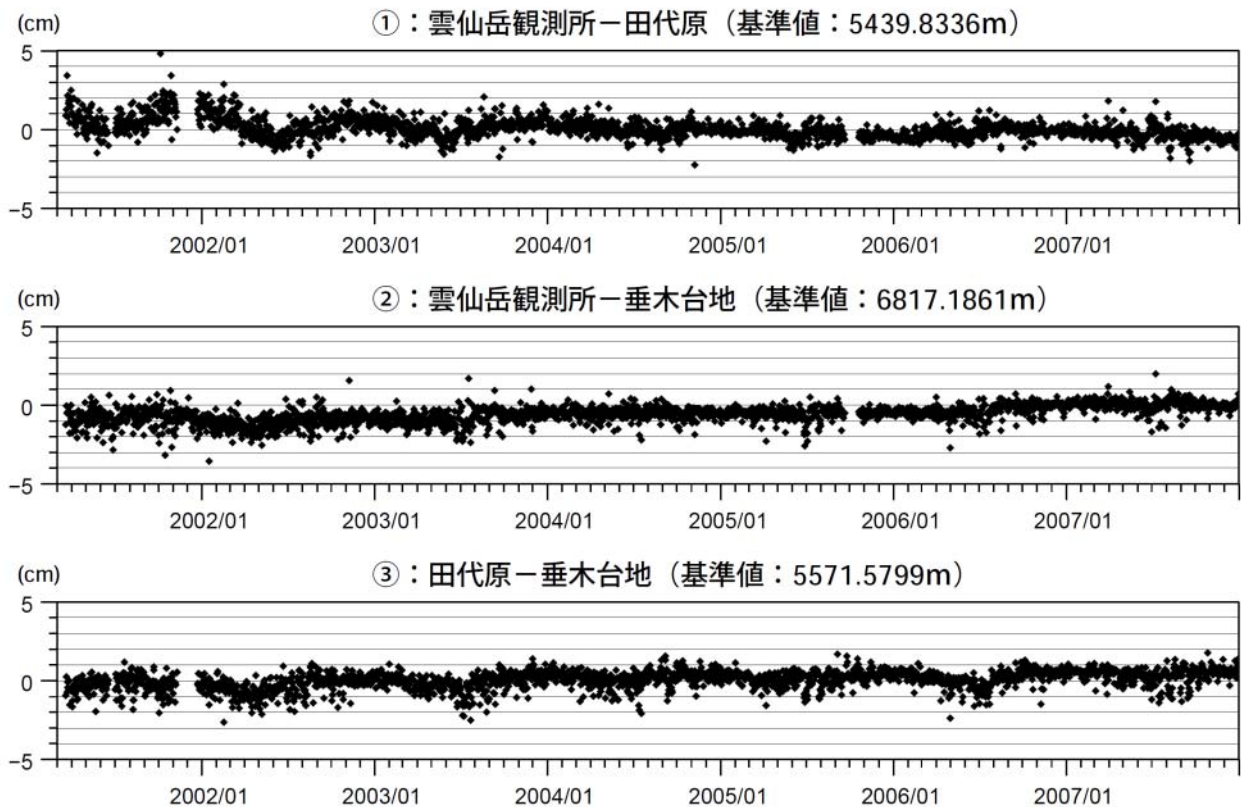


図4 雲仙岳 GPSによる基線長変化(2001年3月19日~2007年12月31日)

各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした。

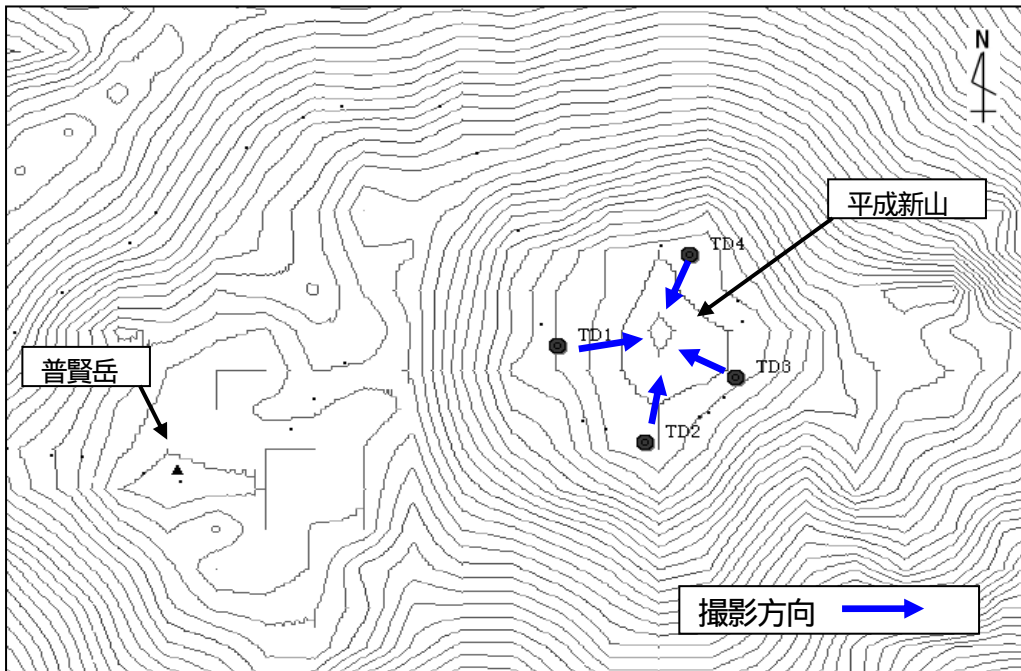
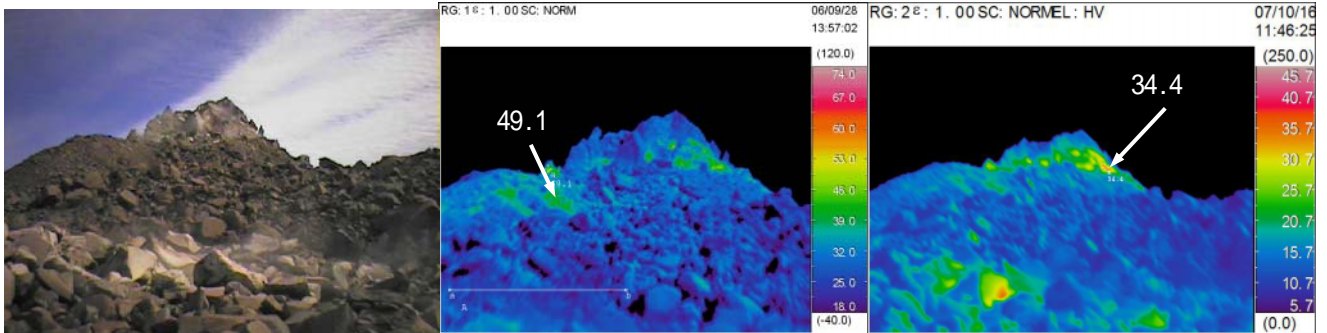


図5 雲仙岳 赤外熱映像観測点位置図(TD1 ~ TD4)

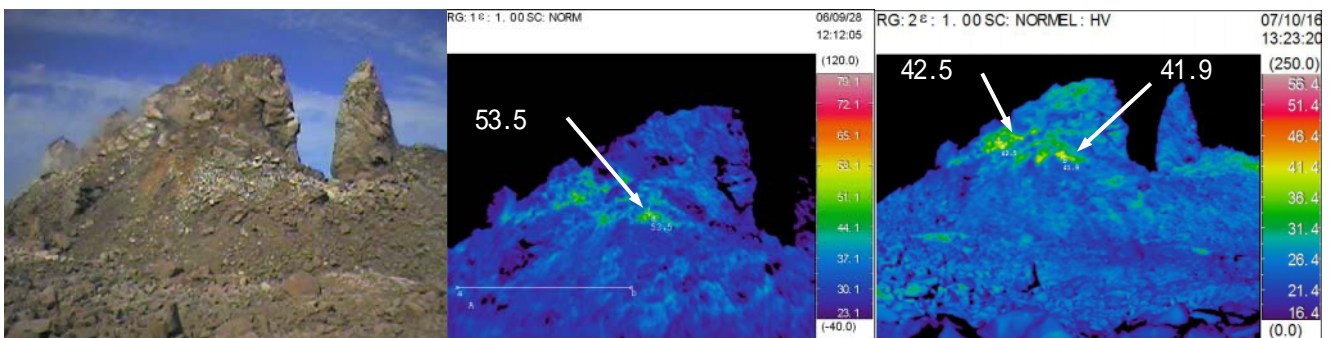
写真(今回)

熱映像(2006年9月28日)

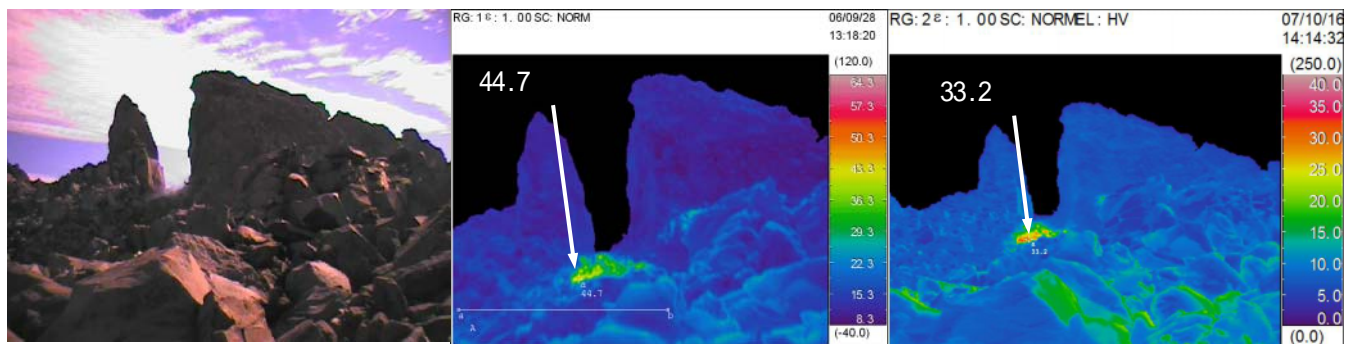
熱映像(2007年10月16日)



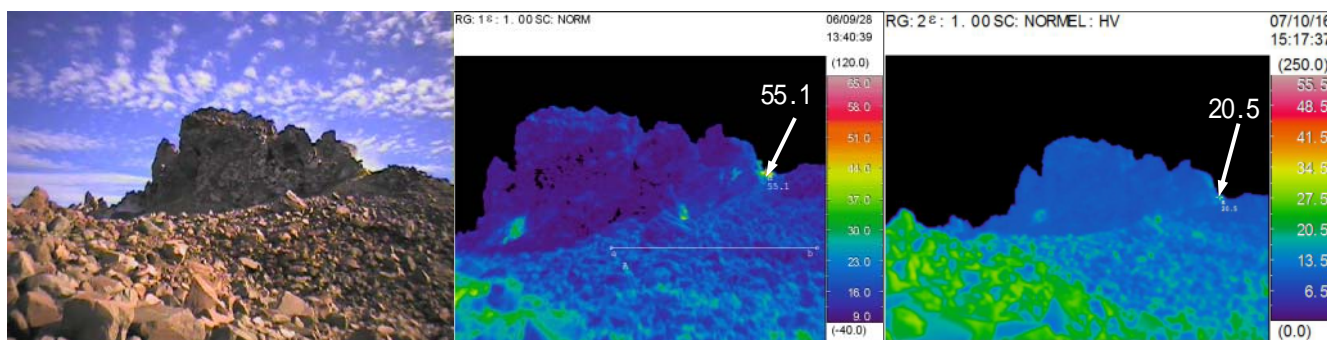
(a) TD1



(b) TD2



(c)TD3



(d)TD4

図6 雲仙岳 平成新山の可視画像(2007年10月16日撮影)と熱画像(左:2006年9月28日、右:2007年10月16日撮影) 前回(2006年9月)と比べ、熱異常域の分布に大きな変化は認められず、表面温度はやや低下しました。

観測点情報

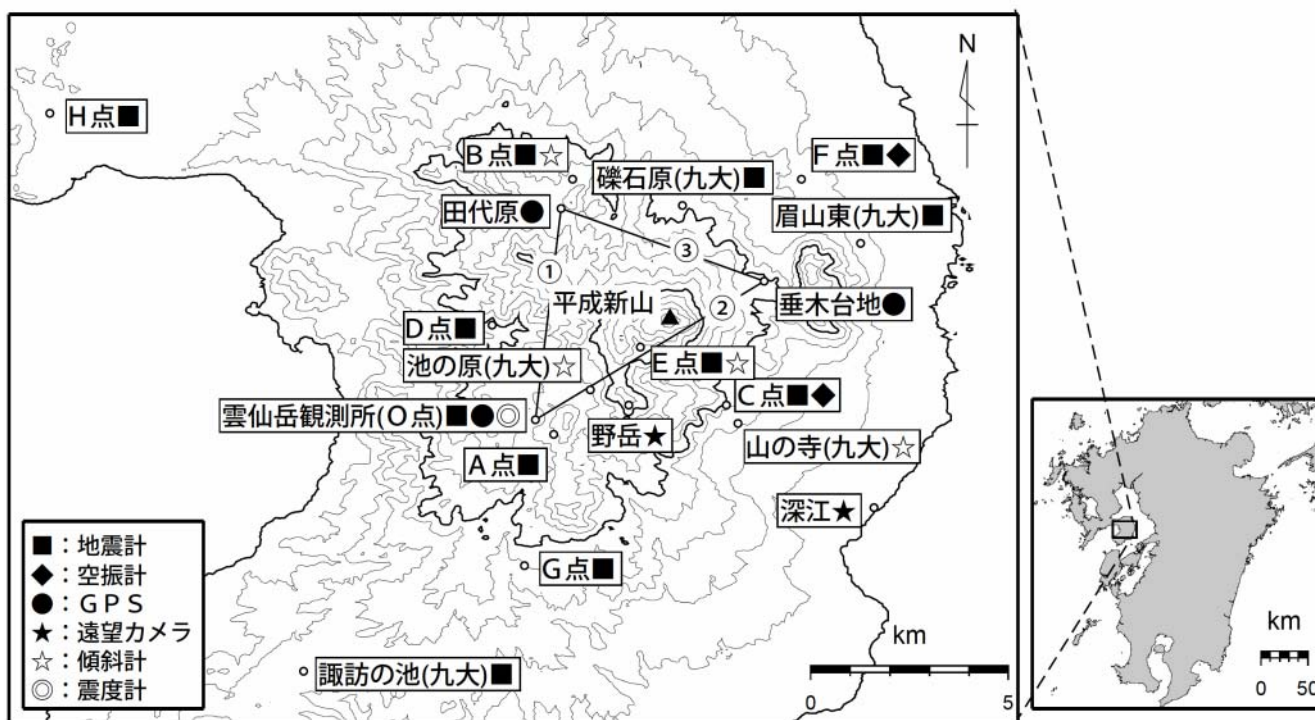


図8 雲仙岳 観測点位置図

観測点一覧(世界測地系)

観測点	観測項目	緯度	経度	標高[m]	設置高[m]	備考
UNZO	地震計・震度計	32 44.3	130 15.8	678		雲仙岳観測所(Unzendake WS)
UNZA	地震計	32 44.1	130 16.1	769		矢岳(Yadake) 基準観測点
UNZB	地震計・傾斜計	32 47.6	130 16.4	655		鳥甲山(Torikabuto)
UNZC	地震計・空振計	32 44.5	130 18.9	400		岩床山(Iwatokoyama)
UNZD	地震計	32 45.6	130 15.1	420		上岳(Kamitake)
UNZE	地震計・傾斜計	32 45.3	130 17.5	1075		薮谷(Azamidani)
UNZF	地震計・空振計	32 47.6	130 20.1	185		杉谷(Sugitani)
UNZG	地震計	32 42.3	130 15.6	400		慈恩寺(Jionji)
UNZH	地震計	32 48.5	130 07.9	66		森山町(Moriyamatyou)
UNZ	GPS	32 44.3	130 15.8	678	2	雲仙岳観測所(Unzendake WS) 2周波 2001.3 観測開始
TRK	GPS	32 46.2	130 19.5	586	2	垂木台地(Tarukidaichi) 2001.3 観測開始
TSR	GPS	32 47.2	130 16.2	640	2	田代原(Tashirobaru) 2001.3 観測開始
NOD	遠望カメラ	32 44.5	130 17.3	1142		野岳(Nodake) 超高感度カメラ 2002.1 観測開始
FKE	遠望カメラ	32 43.1	130 21.3	15		深江(Fukae)